

波紋

1994 10 第112号

第2回

「元気が出る森松展」



初日終了後に行われた懇親会にて。

9月8日、9日の2日間、森松本社5F、2Fにて、第2回元気が出る森松展が開催されました。

御来場頂きましたのは、昨年とほぼ同じ約500名の方々でした。出展企業24社と、昨年より多くの仕入先様の御協力を得ることができ、一層盛大な展示会にすることが出来ました。

御忙しい中、御協力、御来場頂きました仕入先様、得意先様、本当に有難う御座居ました。

そして、昨年に引き続き実行委員長を務めた牧野部長をはじめ実行委員の方々、いろいろ手伝って下さった方々、本当に御疲れ様でした。

加藤 美佐子

「かえる工夫」

『女心と秋の空』『政治家の主張と日本の首相』変わりやすいものの代名詞で使われる言葉ですね。

女心に限らず、恋の心にも限らず、人の心は千変万代。今、楽しく笑ってた人も、五分後に悲観するような事が起これば、たちまち涙を浮かべ、又、怒った顔で大声を出している。そんな心の動きに振り回されて、悩み、一喜一憂し、ストレスを自然に体内に溜めてしまう日々です。こんな性格の私が海外工場の経営をする事になった時、神経がダメになっってしまうのではないかと少々不安になりました。

考えてみれば、人の心にもそのような変化性があればこそ、お互い努力のし甲斐もあると言えるのではないかと。職場を愉快に、皆が喜んで働けるようにしたい。明るく、元気で楽しく仕事が出来ると会社にしたいと常々願っていたら、又、心で思っていたら、そして願望だけでなく、そうなるにふさわしい言動を継続させ、工夫を実行したら、必ずそうなるように世の中は出来ていると信じています。まず自分の考え方、方法、見方をチェンジする事から始めようと思います。

「元気が出る森松展」の次のイベント「福カエル展」が九月三十日(金)、十月一日(土)の両日開催されます。今まで考えても見なかった背広、洋服を森松が売ると想像も出来なかつた。しかし、実行します。我々が今までやって来た事を振り返ってみる。又、自分の足元を見る意味で、重要なイベントだと思えます。

社員の皆さん、大いにチェンジしましょう。

森 信之

トシ君の一方通行

「上役は分かってくれない」

何？ 上役は分かってくれない？ どこがだ。すぐ怒る？ うるさい？ 細かい？ 当たり前だ。それが上役なんだ。分かってくれないって言うのは、一体何なんだ。

何？ 気持ちを理解してくれない？ お前なあ、ここは学校じゃねえんだぞ。会社、ここは会社なんだ。営利を目的としているんだ。何故、俺がお前の気持ちを分かんなきゃいけないんだ。考え方とか方法っていうのは承知している。だから怒るし、うるさいし、細かいんだ。お前の気持ちの為に俺は上役やっせんじゃねえんだ。

何？ 一方的だあ？ 当たり前だろ。一方的に言わなきゃ動かねえじゃないか。それともお前から戦略、戦術がちよろつとでも出たか？ 前向きな意見がでたか？ 積極的な姿勢を一度でも見せたか？……

何でそんな奴を俺が分からなきゃあかんのだお前、働くという意味を本当に理解しているのか。マンガばかり読んでいないで、少しは真剣に世の中とは一体何なんだと無い脳味噌で考えろ。

無理だろうな。新聞も本も読まねえ奴に世の中なんてな。本当にうちの馬鹿、いや部下は分かってくれない……。

(これは、よその会社の話です。)



木村 英利

森松クインテット

「整理・整頓」

最近4年間のうちに三回事務所の移転をしました。

一回目は平成2年に本社ビルが完成した時、二回目は平成4年に本社ビルより現・要工場へ、そして三回目は今年、再び要工場より本社へ戻ってきました。偶然かどうかは分かりませんが、2年毎に移転しておりますので、2年後に再び何処かへ移転することになるかも？ それは別として、この三回の移転で感じたことは unnecessary書類を随分多く保管していたなということだ。

今年の移転時も保管していた書類を思い切って沢山処分しましたが、今のところ支障は起きておりません。その意味では、移転も不要な書類を処分できるいい機会であったと思います。大事に保管していても必要な時にすぐに取り出せなければ意味がありませんが、現在、私の机の周りには、相変わらず散らかっておりますが、これでも自分なりに何が何処にあるか頭に入っておりますので、必要な物はすぐに取り出せるつもりですが、これは言い訳でありまして整理整頓になっておりません。

整理・整頓とは、必要な物と必要でない物とを区別し、必要でない物は処分し、必要な物は保管場所を決め、すぐに取り出せるよう保管することであり、事務所ももちろんですが、作業現場においては事故につながりますので、整理整頓を徹底しましょう。



稲葉 友昭

喜怒哀楽

「我が家の子供たち」

最近、ますますかわいくなってきた我が家の子供たちですが、特に長男の「義弥」は、一日一日でいろいろな事を覚えるので、毎日帰るのがとても楽しみです。

毎朝出勤する時は、必ず義弥が送り出してくれます。車に乗り込み、そこら中を触りまくって喜んでいきます。さすが男の子だとも思います。帰りも必ず出迎えてくれます。車のエンジン音がするだけで飛び出してくれます。だから、毎日帰り道により、お土産を買って帰ります。「お帰りのチュッ」をしてお土産を渡すのです。正座して、目をつぶって、両手を出しています。その姿は何ともいえず、かわいくて仕方ありません。

今、仕事で毎週一泊二日出張をさせてもらっております。不思議なものです。出発日は何も言わなくても必ず早起きます。そして、JR大高駅まで送ってくれます。駅員さんも毎週の事ですので顔馴染みになり、今では「パパを送ってきなさい」と言って改札から中へ通してくれます。「パパ、気をつけて行ってらっしゃい、がんばってね」と、大きな声で出張の始まりです。周囲の人がみんな振り返るので、最初は恥ずかしかったけれど、今はとても励みになります。又、長女の「里奈」が必ずおにぎりを2つにぎってくれます。形はまんまるで、新幹線の中で食べておりますが最高の味です。どこかの自分勝手なK常務が「子供には後ろ姿を見せなさい」とよく言います。私、後ろ姿は森松でも大きい方です。果たして我が娘、息子にはどのように写っているのでしょうか。とにかく、素直に、健康に育って欲しいと願っております。

伊東 郁二

改善サークル紹介

サークル名 トウモロコシ (営業一部)

こんにちは。「トウモロコシ」の吉岡です。私達営業一部は、森松において改善を目的としたサークル活動が始まった時から「いかに効率よく仕事をするか」「事務作業を効率よく行うにはどうすればよいか」という大きなテーマに対し、光田部長をリーダーとして男性4人、女性2人というメンバーで取り組んできました。前回の改善発表会では惜しくも3位入賞をのがしてしまいました。現在新メンバーの坂本君を含めて総勢7名、今度こそ……の想いで活動に励んでいます。「継続は力なり」などと言いますが、営業一部のメンバー全員、この事を忘れずにやっていきます。「コーン」^{トウモロコシ}を食べてコーン^根気よく……!?!なんてネ。



西垣 浩司

うか……。

誰が?!イコール自分自身では、無いでしょ

いのか、的確に指示する事が出来る。

何をどうして良いのか、どの様にやって欲しい

まず、自分自身が身を持ってやって見れば、

何かをやるうとして計画を立てたのなら、

大変だし、受ける人も大変!!

通りになって欲しい。だから、指示する人も

タ・チにて現われる。しかし、何かをするとい

何かをしようとした時……何から始めて……

何をすれば……結果は何か不思議な、カ・

「誰が?」

暮らしのエッセイ

平成6年 10月の社内行事

30日(金)	福カエル展 5F (紳士服イージー)
10月 1日(土)	オーダー販売日
3日(月)	第一土曜日休み
3日(月)	竹田沙織さん誕生日
4日(火)	若手サークル会 18時
5日(水)	造集団会議 18時
6日(木)	誕生会 12時 4F
7日(金)	社内キックベースボール大会
8日(土)	新規開拓部隊会議 18時
10日(月)	第二土曜日休み
10日(月)	体育の日
14日(金)	新規開拓部隊会議 18時
15日(土)	改善委員会 18時
15日(土)	第三土曜日休み
18日(火)	福島文徳さん誕生日
19日(水)	岩田ひとみさん誕生日
21日(金)	中京21世紀クラブ 15時
22日(土)	生産会議 17時40分
22日(土)	新規開拓部隊会議 17時
23日(日)	竹内治子さん誕生日
24日(月)	編集会議 17時50分
25日(火)	加藤係長誕生日
25日(火)	経営会議 16時30分
29日(土)	営業会議 18時
29日(土)	新規開拓部隊会議 17時
30日(日)	社長 中国・ベトナム 視察出発

ニコチャン投書箱

今月のニコチャンは、……

岩田ひとみさん、近藤珠美さん、
大和田夕美さん、坂柳夕里さん、
辻中まさえさん、谷口 香さん、
加藤美佐子さん、竹田沙織さん、
に決定しました。

森松には、数々の行事がありますが、
野球やテニスなどのスポーツ活動もあり
ます。

その多くは、丹後公園の野球場やテニ
スコートを使用しているのですが、その
為には、朝早くから南土木事務所まで行
って申し込みしなければなりません。
「誰が申し込みに行ってらんだらう？」
と、考える人は少ないと思います。それ

クイズコーナー

倍増カードなら、べ

1から9まで9枚のカードを、図のよ
うに並べると、和は「900」になる。
カードを4枚動かすだけで、和をいつ
きよに倍の「1800」にしてもらいた
い。

10月末日締切りですので、どんどん御
応募して下さい。お待ちしております。

	4	9	5
	1	6	7
+	2	3	8
<hr/>			
	9	0	0



▲左より 辻中さん、坂柳さん、岩田さん、
谷口さん、竹田さん、大和田さん、
近藤さん、加藤さん

は誰かと言いますと、森松の女性社員達
なのです。彼女達が交替で申し込みに行
ってくれています。
みんなが楽しく利用できるのも、彼女
達のお陰です。感謝しております。又、
今後もし宜しく願っています。

推薦者 高橋 武夫

編集後記

私の家族は父母と弟、上
が12歳から下は2か月ま
での4人の猫がいます。昔、
父が「うちの人間が4人だ
から猫も4匹まで飼ってい
いよ」なんて言ってた時期
もありましたが、あれよあ
れよと4匹になりました。
つい最近までは男三兄弟
でそれぞれが人間の長男、
次男、三男の様な性格をし
ていておもしろいと思っ
ていましたが、そこへおて
んばな妹ができ、三人がて
んでこまいつている姿を見
ると家族の顔がほころびま
す。うちの家族は8人で輪
ができています。

生まれてすぐの写真でも
猫と寄りそって写っている
私。どんなにステキな人
でも猫嫌いの人は結婚でき
ないと思う今日この頃で
す。

坂柳 夕里

編集発行者

森松株式会社

発行責任者

高橋 武夫

平成6年10月1日
第112号